

第13回
嬉野市塩田庁舎等利活用検討委員会 資料

多世代交流施設の事例について

令和7年2月13日

「室内ゲーム」や「健康」をキーワードにした多世代交流施設

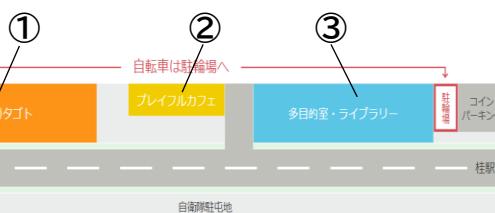
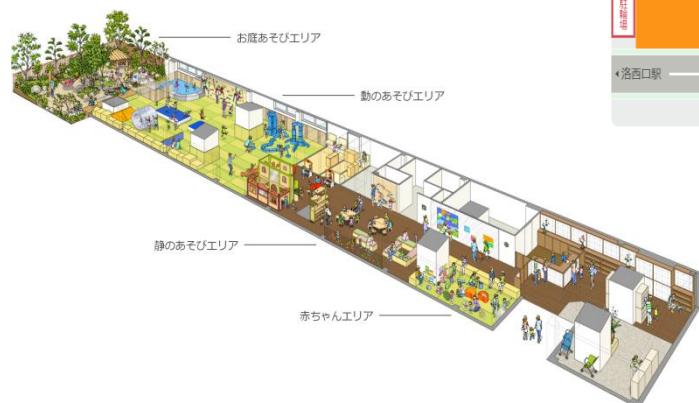
京都市交流促進・まちづくりプラザ(京都須京都市)

「京都市交流促進・まちづくりプラザ」は、阪急電鉄京都本線の洛西口駅と桂駅間の高架下にできた、地域の多世代の交流を目的に設立された京都市の公共施設です。

※阪急洛西口駅～桂駅間の線路の高架化事業により生み出される空間を活用するプロジェクトの一環として、民間事業者がプロデュースし、指定管理者として運営も行っている。

- ① 6ヶ月から12歳までの子どもたちが遊べる有料室内あそび場「ガタゴト」は、あそびを通して地域の子育てを応援する場です。
- ② あそび場と多目的室の間には、パズルやボードゲームが楽しめるカフェがあります。親子の休憩や、子育てファミリーの情報交換、地域の人々と季節の行事を楽しむなど、あそびや会話を通して人々がつながっていく場です。
- ③ 絵本や児童書、街の情報が揃う「ライブラリー」、さまざまな世代の人々がクッキングや講習会などに利用できる「多目的室」があります。

①有料室内あそび場「ガタゴト」



②パズルやボードゲームが楽しめるプレイフルカフェ



③多目的室・ライブラリー



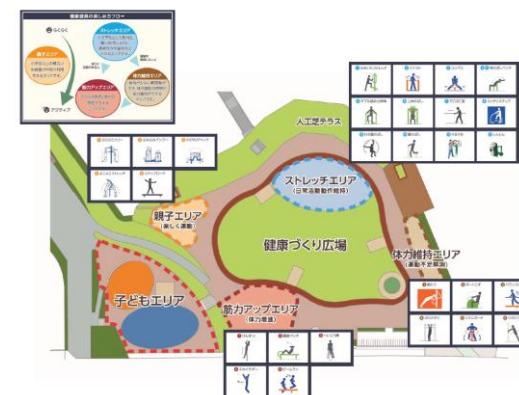
多世代交流促進に室内ゲームを利用

芥川緑地健康づくり広場【アクトレ】(大阪府高槻市)

大阪医科薬科大学監修のもと、子どもから高齢者まで、体力レベルや運動目的にあわせて利用できるように、30基の健康遊具数を備えた5つのエリアが設けられている広場

※緑地内にあった老朽化で閉鎖した市民プール跡地を健康づくり公園へとリニューアル。あらゆる世代が学び、憩い、楽しめる空間として再整備

「健康」をキーワードに多世代が利用できる設備を整えた



親子エリア



小学生以上の幅広い年齢層が仲間で利用できるエリア

体力に自信がある人

筋力アップエリア



さらなる筋肉、体力の増進ができるエリア

ストレッチエリア



ケガの予防として筋肉を順に伸ばしてほぐし、柔軟性や代謝を向上させるエリア

健康を維持したい人

体力維持エリア



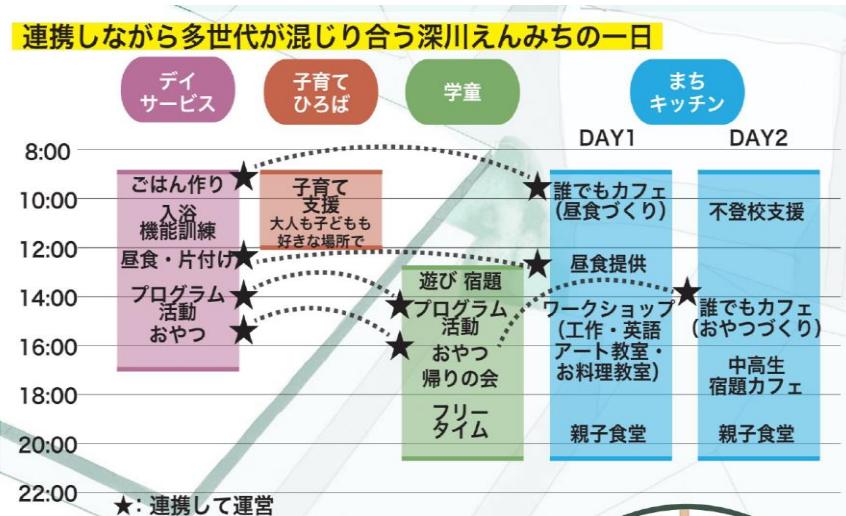
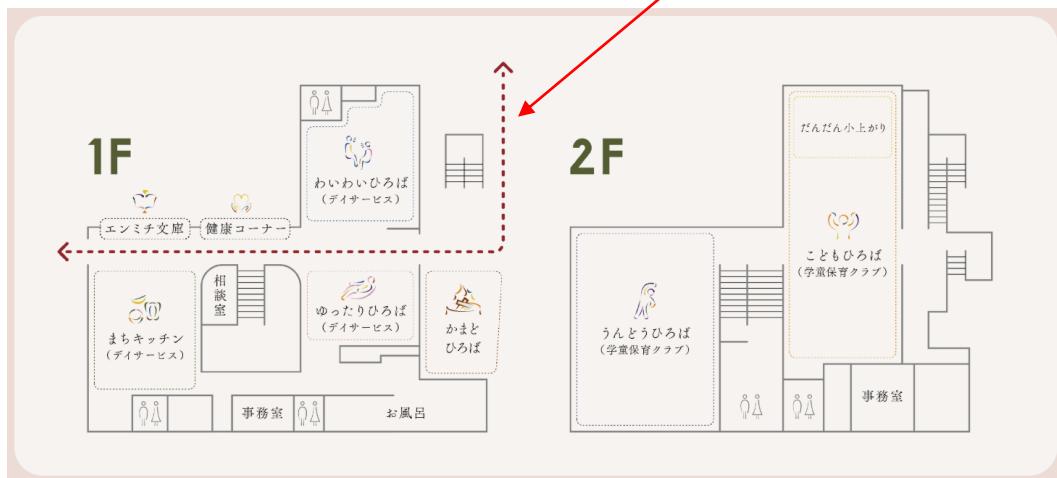
負荷が少ない系運動ができ、体内脂肪の燃焼や体力維持ができるエリア

多世代共生の複合型福祉施設

深川えんみち(東京都江東区)

深川えんみちは、社会福祉法人聖救主福祉会が[高齢者デイサービス]と[子育てひろば]を、NPO法人地域で育つ元気な子が[学童保育クラブ]をそれぞれ運営する、複合型の福祉施設
 ※日本財団みらいの福祉施設建築プロジェクト2021の公募事業の採択案件

施設内に作られた導線(縁をつなぐ道)を通して自然な交流を生み出す



- 1階にデイサービス、2階に学童保育クラブと子育てひろばを基本とし、各事業が連携し、タイムシェアしながら随時入り混じることで、日常的に多世代が接点を持ちながら生活します。
- 加えて、一箱本棚オーナー制度の私設図書館「エンミチ文庫」を設け、地域の方々が福祉施設に参画する仕組みを取り入れることで、福祉施設との関わりを持ちにくい世代の方々も巻き込み、道を中心に「縁」を紡ぎながら豊かな街をつくっていくことを目指した施設



学校帰りの子ども達がデイサービスの間の導線を通して学童に向かう。



デイサービスの横に設置された一箱本棚オーナー制度の私設図書館



段差のあるこどもひろば



学童保育クラブの様子